

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業名		コード	18500	予防事務費(保健推進員)	予算科目	会計	一般	款	4	項	1	目	2	事業種別	担当班	予防班
基本施策		5		保健の充実	根拠法令	健康増進法								☒ 主な事業		
施策の展開		11		健康づくりの推進	戦略事業	53	保健推進員							☐ 国土強靱化地域計画		
施策の展開					戦略事業									☒ 新市建設計画		
														☐ 定住自立圏構想		
														☐ 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	各地区より選出された者が市より委嘱を受け、旭市保健推進員として組織活動を通じ、健康問題の発見、及び改善を目指し健康づくりの担い手として、様々な活動、研修を行う。 食生活改善推進員も兼ねており、組織としては、その上に海匠地区(保健所管内)、県、国と全国規模の構成になっている。	本市の平均寿命は、国・県と比べ短く、生活習慣から起因する「がん」「心疾患」「脳血管疾患」の三大疾病も高い状況にある。保健推進員においても、生活習慣病予防や介護予防等の育成事業を実施し、保健予防事業の推進を図っている。	・保健推進員の任期は2年だが、続けて継続する人が少なく、2年後にはほぼ新メンバーで活動開始となるため、軌道にのるまで時間がかかる。	研修を通じて得た情報や経験(減塩、体操、健診のすすめ)を地区伝達の場合や集会時に地域住民に伝え、同感を得ている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算)		単位:千円	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1.報酬費	2,185:保健推進員報酬(117人)	千円	2,277	2,228	2,179	2,185	2,470
2.消耗品費	155:研修会(中央・支部)食材料費等	千円	584	130	296	155	449
3.通送料及び駐車料	23:保健推進員視察研修道路通行料	千円	21	13	13	23	37
4.通信運搬費	23:推薦依頼通知代、委嘱関係書類通知代	千円	0	0	0	23	0
5.報償金	20:運動研修会講師代	千円	0	30	0	20	0
② 特定財源の内訳(29年度の決算)		単位:千円	2,882	2,401	2,488	2,406	2,956
1.国庫支出金	0	千円					
2.都道府県支出金	0	千円					
3.地方債	0	千円					
4.その他	0	千円					
事業費		千円	2,882	2,401	2,488	2,406	2,956
特定財源		千円	2,882	2,401	2,488	2,406	2,956
5.一般財源		千円	2,882	2,401	2,488	2,406	2,956

前年度増減理由	H28隔年の運動研修会の開催により、講師料、任期替えのため新保健推進員推薦依頼、委嘱書類郵送費用が発生したため。
---------	--

従事職員数	常時	1人	最大	4人	×	1日	=	延べ	4人
-------	----	----	----	----	---	----	---	----	----

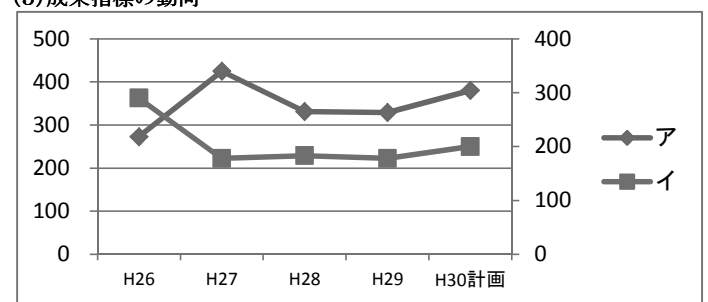
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動)							
目的	保健推進員支部研修会(各支部 年2回)・中央研修会(年4回、その内1回は視察研修を実施)	ア 中央研修会 実施回数	回	3	5	4	4	4
		イ 支部研修会 実施回数	回	21	14	14	14	14
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	対象 意図 対象意図							
対象意図	保健推進員	ア 中央研修会延べ参加者数	人	273	425	331	329	380
	健康づくりに関する専門的知識を高める	イ 支部研修会延べ参加者数	人	290	178	183	178	200

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
	小さい			
② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 ☐	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)					25年度 26年度
③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	27年度 28年度
	6月～12月	中央研修会、支部研修会を実施し、保健事業や減塩、母子、介護予防、メタボにならない秘訣等について学ぶ。			現状維持 ☒ 見直し ☐ 廃止・休止 ☐ その他() ☐	29年度 30計画
					6月～12月	51 22
					おやこ料理教室、骨太クッキング、減塩推進スキルアップ事業等の事業を展開し、調理実習をおとして、各年代に応じた食育の推進を実施する。	